

5 緊急時の対応

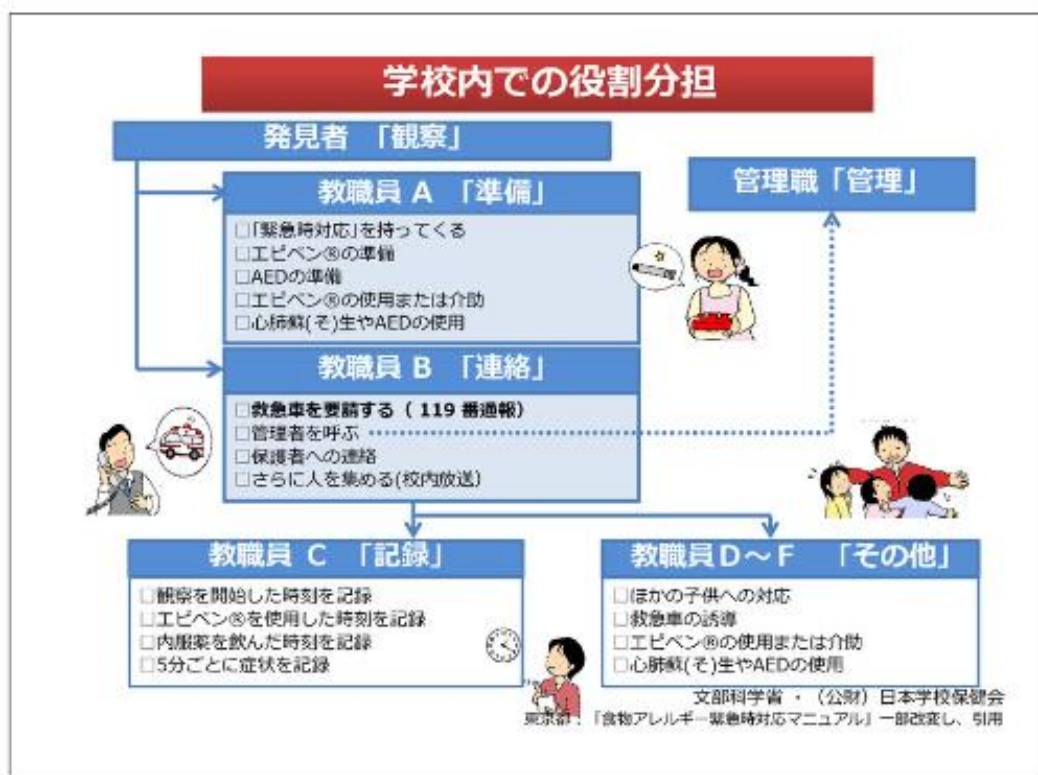
5-1 アレルギー発症時・アナフィラキシー発症時の緊急時対応プラン(例)

アレルギー疾患の緊急時に適切な対応を行うためには、緊急時対応マニュアルを作成するだけでなく、校内研修を実施するなど、緊急時に適切な対応を行えるようにしましょう。

また、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル 奈良県」を職員室や教室等に常備し、緊急時に活用するようにしましょう。

学校内での役割分担

役割分担には、発見者、準備係、連絡係、記録係、その他の役割があります。発見者には学級担任になる可能性は高いですが、全教職員が全ての役割を担えるようにしましょう。



(引用「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」公財)日本学校保健会)

学校でのアナフィラキシー対応では、具体的な役割分担を行うようにしましょう。例えば、発見者になった場合、児童生徒から絶対に目を離さず観察し、近くにいる児童生徒や教職員に助けを呼ぶように声かけをしましょう。

また、学校の人数や規模によっては、複数の役割分担を担う必要があります。学校の実態を考慮したうえで、役割分担を整理し、学校体制を整えるようにしましょう。